

恋の炎（サブリミナル）

その瞳に辱らうものを  
僕は必ず逃しはしない

例え遠く時間がかかっても  
必ず君の記憶の中に  
僕の姿を刻みつけてみせる

忍び込む影の様に  
慕っては離れ 近づいては惑わせ  
この世で一番掛け替えのない  
君の星に輝く日まで

その為に多くの書が必要とし  
その為に多くの知識を必要としても  
この手に残る財の全てをかけて  
腕の内に引き寄せる日まで

戦いは続くだろう 白い竜巻きをあげて

春は今日も春雷と共に  
風のように吹き抜けるけれど  
僕は消して迷いはしない

燃え栄る恋の炎の様に